



広 い 心

学校便り 7号
令和6年 7月19日
宮古島市立 狩俣小学校
発行者：校長 村吉博勝

夏休みの体験



いよいよ明日から38日間の夏休みが始まります。子どもたちにとっては待ちに待った夏休みであり、「何をして遊ぼうか」「どこに出かけようか」等等、頭の中は楽しいことでいっぱいになっているかと思います。

親の立場から考えると、子どもがやってみたいことをどう叶えてあげようかと悩むところもありますが、保護者の皆様には、**ぜひ、夏休みの過ごし方について子どもと話し合って計画を立ててほしいと思います。**子どもと一緒に計画を考えることはとても大切で、子どもの想像力、やりたい事に向け粘り強く取り組む力、計画性。これらを育む良い機会となります。私も、自分の子どもに、学校では体験できない、学べない事をさせたいと考え、一緒に虫取りしたり、一緒に川遊びをしたり、一緒に図書館に行ったりと一緒にやることを心がけて夏休みを過ごしたことがあります。

「センス・オブ・ワンダー」という言葉があります。子ども成長にとって貴重なこの時期に、自然の不思議さ面白さを親子で共に感じる機会がもてたらと思います。仕事上、なかなか時間がつくれない保護者もいますが、何か一つ、**一緒に楽しむ（体験や活動）夏休みにしてみてもどうでしょうか。**

2学期の行事に向けて



今年の2学期は、いつもと違い慌ただしい2学期になりそうです。2学期にある大きな学校行事を紹介します。運動会は、9月8日となっており、夏休み明け間もない時期に行います。それで、夏休みは、体調面も気を遣いながら楽しい夏休みを過ごしてほしいと思います。そして、「九州へき地教育研究大会」が、今年沖縄での開催で、宮古島大会となっています。九州各県から大勢の教師が来島します。狩俣小は、公開授業・研究発表の会場となっており、それに向けて夏休み明け準備が本格的になります。

- 1 小・中合同運動会（9月8日）
- 2 第70回九州へき地・小規模校教育研究大会沖縄（宮古島）大会（10月24日～25日）
- 3 学習発表会（12月1日）

安心・安全な夏休み



夏休み、子ども達にとっては楽しい時ではありますが、気が緩んだり、生活リズムが乱れたりする時でもあります。そこで、十分に気をつけなければいけないことが、子どもたちの安心・安全です。

安全面では、海や川での水難事故、道路での飛び出し等の不注意による交通事故があります。これらは、大人の見守りと、日頃からの自転車の乗り方や道路の横断についての注意喚起が大事と考えます。また、夜更かしや長時間のゲーム等で、生活リズムが乱れることも予想されます。これらの事について、学校、学級でも指導していきます。ぜひ、ご家庭でも子どもと一緒に、夏休みの計画を立てる中で、安心・安全な遊び方、規則正しい一日の過ごし方について話す機会を設けてほしいです。

子どもたちが、有意義な夏休みを過ごし、2学期、元気に登校してくれることを願っております。保護者の皆様にもご協力をお願いします。